

# 自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成 30 年 6 月 29 日 (金)

発行者 学校長 森 健太郎

所在地 神奈川県西寺尾三丁目 10 番 1 号

電話 045(401)3644 FAX045(431)0244

<修学旅行スローガン>  
Green Peace 想いよ届け  
~この経験をひとつの証に~

## 『修学旅行を終えて』

修学旅行副実行委員長 3年3組 山崎 圭祐

今年、平和学習として1日目に広島へ行きました。事前に平和講話や道徳の時間に学習をしていましたが、原爆ドームや平和資料館を実際に目で見て肌で感じると、全く感じ方が違いました。当日の体験者の方の講話でもメモをとりながら聞く人もいて、みんなとても真剣な姿勢で臨んでいました。夜には、今ある幸せな日々をかみしめながら、大切な家族への手紙を書くことができました。2日目の班別自主行動では、各班がそれぞれ事前に決めたコースにそって行動ができました。時間がずれてしまった場合も、コースを短縮したりして臨機応変に対応できました。大きなトラブルもなく全員が無事に宿舎へ帰ってくることができました。夜には学年レクを行い、クラスの代表者がステージで対決をして大いに盛り上がりました。私たち緑学年のよいところである『みんな楽しく盛り上がる』を感じた時間でした。3日目はクラス別に京都のお寺を参拝したり座禅や清水焼などの貴重な体験をしたりし、クラスの親睦を深めることができました。

この3日間を通し、普段の学校生活では感じることでできないことをたくさん学びました。学年の仲間がルールを破ってしまったときは、先生に頼ることなく自分たちで解決する場面もありました。この3日間は私たちの人生にとっての1つの証になるでしょう。ここで学んだ様々な経験を、今後どう生かしていくかによって私たちは変わっていくはずです。私たちにとっての中学生としてのゴールは卒業式。この3年間で得たたくさんの経験を最大限に生かし、最高の卒業式を創ります。





### 『笑顔あふれた3日間』 3学年教諭 笹部 将吾

移動距離も長く、起床時間も5時半というスケジュールの中、子どもたちは限られた時間を有効に使い、互いを思いやり親睦を深めながら多くを学んでいました。疲れたときにも笑顔があり、温かな声かけがありました。平和の学び、文化の学び、仲間同士の学び。当たり前前に感じてしまう毎日の生活の中にあるたくさんの幸せについて、考える機会をいただいた修学旅行でした。仲間の笑顔とその存在を大切に思いやる心が、平和をつくることへの第1歩なのだと感じました。

感動の卒業まで、残された時間はあと8ヶ月。これからもたくさんの笑顔と、私たちの過ごした『証』を、みんなの心でつくっていきたいと思っています。

## 東京校外学習！

2学年教諭 小野裕明

5月22日、2年生は、「♡ファミリー全員集合 絆で刻め、長崎への道しるべ In Tokyo」というスローガンのもと、東京校外学習を実施しました。4月から学級や係ごとにおよそ2か月間、本番に向けて準備を重ねました。実行委員は、スローガン決めや持ち物のルール作りの検討。班長は、ルールの検討や当日のまとめ役。副班長（コース係）は各班



で考えたコースをもとに、パソコンを使いながら行程の詳細作り。学習係は、ホールに掲示してある事前学習の掲示物作り、しおりの綴じ込み、事後学習の掲示物作り。記録係は、当日の写真撮影や資料集め。それぞれの係が校外学習を深めるために大いに活躍しました。

今年度のチェックポイントは羽田空港と昭和館。羽田空港は来年の修学旅行の出発地。集合場所を確認し、来る1年後に思いを馳せました。そして修学旅行のテーマ

でもある平和学習のための昭和館。戦中、戦後の暮らしを学ぶ中で、現在の平和に対する理解を深めました。その他に、浅草、上野、東京駅、築地周辺のエリアで散策をしたり、昼食をとったりしました。

今回の校外学習は事前準備の段階から、それぞれの班で計画を立て、活動を行ってきました。学校を離れ、先生たちのもとを離れて行った今回の校外学習では、より自分たちで考え、協力することの大切さを実感することが出来たと思います。計画通りにいかないこともありましたが、最後は無事に新子安駅、大口駅に帰ってくることが出来ました。今回感じた反省を今後の学校生活に活かしていきましょう。

印象的だったのは、今回の校外学習を迎えるにあたって「楽しみ!」、終わってみて「楽しかった!」と言っている人がとても多かったことです。これまでの日々の学校生活や行事での充実感、仲間への信頼や期待がそうした言葉を発させたのでしょう。前向きで明るい赤学年の雰囲気、これからさらに強くなっていくといいですね。

自然教室、東京校外学習を経て来年はいよいよ修学旅行。遠く長崎の地で、これまで築き上げたハート♡ファミリーの「絆」を存分に発揮し、たくさんの感動体験ができる3日間に行きましょう!

## 1学年自然教室 ～西湖～

### 1 学年教諭 野木 宗亮

1年生にとっては錦台中学校に入学して最初の大イベント、5月27日、28日の2日間で山梨県の西湖周辺に自然教室に行ってきました。まだ知り合ったばかりの友人たちとの事前学習やスタント練習で、思うように準備ができなかった人も多かったと思いますが、何はともあれ無事出発!

現地について早々、みんなを待っていたのはハイキングコースの急勾配。登る前から「ひえ～、これを登るのか～」という悲鳴がちらほら。登りながらも「まだ坂続くのか～」との叫びがあちらからもこちらからも。それでもなんとかみんな頂上にたどり着き、富士の樹海が眼下に広がる絶景の中でおいしく弁当をいただきました。



夜のイベントは何といってもキャンプファイヤー。各クラス、工夫を凝らしたスタントを披露してくれました。しかも、発表しているクラスだけでなく、周りのみんなもノリノリで歌ったり踊ったりしてくれ、青学年が本当に一つになれたものとなりました。すごく楽しかったね。

2日目は、クラスごとにわかれての酪農体験。乳搾りやえさやりなど都会にいてはなかなか体験できない動物との触れ合いができました。驚きだったのは、バター作り。瓶に入っている牛乳を一生懸命に振っていると、あら不思議! どんどん固まっていき美味しいバターができるではありませんか! 仔牛もかわいかったね。



この自然教室を通して、青学年の親睦が深まり、そして集団の中で互いに思いやり協力する力がとてもついてきたと感じます。これからの錦台中学校での生活で、青学年のみんながどんな活躍をしてくれるのか、より一層楽しみです。

一学年自然教室実行委員長 堀越 紫温

僕たちは、「仲を深め自然とふれ合い楽しもう！」をスローガンに、自然教室に行ってきました。事前の準備では、みんなががんばってくれたおかげで順調に進みました。

自然教室初日は、山登り。みんな辛い表情をしながら登っていました。でも、山頂に着くと笑顔を見せていて、この後のご飯もみんな楽しそうに食べていました。その日の夜は、キャンプファイヤー。みんなで各クラスのスタンプを盛り上げていて楽しいキャンプファイヤーになりました。2日目は、朝から野木先生の歌でみんなが目覚め、面白い朝でした。その後はクラスごとに酪農体験をしました。そこでは、牛の乳搾り、バター作りなどをして楽しかったです。午後はバーベキューでみんなが楽しく肉を焼いたり食べたりして、とてもおいしかったです。

僕たちは、自然教室を通して、学年、クラスの間で協力し、仲良くそして楽しく活動することができました。これからも、この自然教室で学んだことをいかして、最高の1学年にしていきたいです。